

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2023年5月25日 委員会実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
1 育 教 成 育 人 理 念 像 目 的	1-1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	3	学園・学校ともに中長期的な計画を定め、その上で今年1年は何を課題に取り組みかが明示されている。 その計画を実現させるためにも、継続的な入学定員の充足が重要である。	理念・目的・育人人材像を明確に定めており、各会議、研修等で広く周知を図っている。 また業界ニーズの変化をいち早く吸い上げ、それに応えるカリキュラムの構築も行っている。 養成目的・卒業後およそ3年(または業界から求められる人材像)の姿 教育目標:卒業時の到達像	3.0	適切に行われている。 滋慶学園の発祥ともいえる歯科技工・歯科衛生の教育理念は、学園の教育理念として確実に受け継がれていると感じています。 私学の生命線は建学の理念をどうやって具現化するかにあるとおもいますが、業界のニーズと専門知識を適合したなかで、特徴ある人材育成が図られていることは高く評価できます。
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学 校 運 営	2-2 運営方針は定められているか	3	事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして目的・目標を共有することを入れている。各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・部署別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りを行うためである。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に社会のニーズに対応した事業計画・運営方針を定め、実行を徹底していく。 法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視しており、毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文書化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間を通じ会議、研修の場を活用して力を入れている。	事業計画の構成 ①組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的) ②運営方針(中期的に組織として目指していく方針) ③実行方針(中期的な組織の運営方針を実現するための単年度の方針) ④定量目標(受教者、教育成果(中途退学防止、欠席率、資格取得数、就職率、専門就職率等) ⑤定性目標(人材育成や組織あり方等定性的な目標についての単年度目標) ⑥実行計画(その方針を実現するための詳細な計画) ⑦組織図(単年度) ⑧職務分掌 ⑨部署ごとの計画及びスケジュール ⑩附帯事業計画 ⑪職員の業績評価システム ⑫意思決定システム ⑬収支予算書(5カ年計画)	3.0	適切に行われている。 学園の運営方針・事業計画がそのまま学校運営の事業計画にもなっています。 組織目的・運営実行方針・定量目標・職務分掌や事業評価システム・意思決定システムが確実に構成整備されて実行されています。これが文部科学大臣認定の職業実践専門課程の学校に指定されている結果だと評価します。 また肝心な学校運営も、法人理事会・評議会を最高意思決定機関と定め、戦略会議・運営起案会議・学校運営会議などで指示と伝達そして意見の集約が計られています。 巨大な大学法人が混乱に至っている状況は滋慶学園には見当たりません。
	2-3 事業計画は定められているか	3	「次年度の事業・収支計画は、既に今年作る次年度の報告書であり決算書である」という考えのもと、本学園の事業計画は作成されている。具体的には過去から現在に至る数字を考察し、また1年後、3年後または5年後には社会がどのように変化しているか市場調査を行い、作成をしている。	年度初めのスタート研修から事業計画を全員で共有している。運営会議・全体会で計画進行の確認をとり実行している。今後問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを徹底していきたい。		
	2-4-1 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3	事業計画・運営方針を定めることを最も重要視し、毎年事業計画・運営方針を定めるとともに、5年後と5カ年を見通した5カ年計画も作成実行している。 明文化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底することを年間通じて力を入れている。そのためにも各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・部署別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に業界ニーズ・学生ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するように努める。	学校運営をマネジメントシステムの計画と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを念頭に人材育成の一環として運営を行っている。 事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。計画進行の確認のため、問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを徹底していきたい。		
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3	採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。また、その後の教職員の育成には、OJT制度をはじめ職階に応じた研修を整備している。そして、全教職員は目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賃金決定が行われている。	数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務(例えば、入学式・卒業式担当、行事担当、学生挨拶推進担当、清掃運動担当など)も過程を評価できるようプロセス評価を導入している。 また、職員の職場に関するアンケートも実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各目の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。		
2-5 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3					

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2023年5月25日 委員会実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
2 学校運営	2-6 意思決定システムは確立されているか	3	各会議は、会議の位置づけ、会議日の告知、会議の進行の仕方、事業計画においても明確化している。重要なことは、学校運営が滞りなく行われることである。学校運営で生じる様々な問題を早期に発見し、解決策を立て、実行することである。迅速な意思決定ができるシステムになっている。 また、会議の進め方、結果の取り扱いを重視している。 常に「何のために」を意識して会議を実施しており、議論に必要な資料は、担当者が事前にデータ分析などを行い、準備している。また、会議で決定されたことは次回の会議で進捗状況を振り返ることで、漏れや遅滞を出さないよう工夫している。	会議の構成は以下の通り。 1. 法人理事会・評議員会：最高決議機関 2. 学校戦略会議：運営方針の起案会議 3. 法人運営会議：運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 学校運営会議：学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議：決定事項の周知 6. 学校学科会議・部署会議：部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・広告倫理委員会・個人情報保護委員会・学科別教育研究委員会・災害対策委員会・カウンセリング委員・オリエンテーション委員会) 8. 様々なプロジェクトの会議	2の続き 評価は 前ページ に記載 してください。	
	2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	専門学校基幹業務システム(IBM社製 i 5(アイファイブ)上に構築)により管理している。 管理項目は以下の通り。 ①学籍簿管理 ②時間割管理 ③成績・出席管理 ④学費管理 ⑤入学希望者及び入学者管理 ⑥各種証明書管理 ⑦求人企業管理 ⑧就職管理 ⑨卒業生管理 ⑩学校会計システム ⑪人事・給与システム ⑫ファームバンクシステム ⑬研修旅行管理システム ⑭寮管理システム ⑮健康管理システム 等により構築されている。	特に広報、学生の教育・就職・学費入金等、学生に関わる情報処理についてはすべて一元化された運営を行っており、学生情報にブレがないようにシステム構築をしている。そのことが、学生募集、退学防止、就職支援へとつながっている。		
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。 各学科の教育目標、育成人材像は、常に業界のニーズを反映させるため、業界調査、学科調査、競合校調査を毎年行い、そこで現れる業界ニーズに確実に応えられる教育目標、育成人材像を設定している。	人材ニーズの変化や業界そのものの変化に伴う学科の養成目的/教育目的の具直しやカリキュラムの再構築のために研修を実施している。研修は教育力(1.計画・カリキュラム 2.運営・授業 3.評価・試験フィードバック)向上のための教育改善項目について分析し、改革案を作り、改革実施を評価し、修正提言をする役割を担う。	2.6	同窓会、同期会 期待します。 学生の意欲・熱意の向上に更なる期待をしています。 教育活動は評価委員会で、学校責任者の「新東京歯科技工・衛生なら大丈夫」と言われるくらいに高みを目標に教育をしていますとの自信あふれる言葉が全てだと思います。 実績ないところに自信はないのです。 素晴らしい説明でした。またそれを裏付ける教育課程があり、外部の意見を取り入れたキャリア教育も実施されています。 成績の評価や認定でも卒業・進級判定会議を開催し基準を明確化していることは評価できます。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	2	キャリア教育にはいち早く取り組んでおり、入学前・在学中・卒業後と3つの時期を捉えて展開していることがポイントである。キャリア教育の機会には講義形式で知識を付与するものではなく、実践的な体験の中で養成されるべきものと考えている。 授業アンケートと、オープン授業を通して、授業評価を実施している。 授業評価の視点として、受ける学生の視点と、行う講師の視点の2つを重視している。 授業アンケートによって、講師の授業評価を定期的の実践している。	授業アンケート、オープン授業共に教務部長もしくは学科長から講師へ面談を行い、授業の問題点に対する課題提案をし、授業改善につながるよう取り組みを強化する。		
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか					
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3	成績評価及び単位認定の基準は明確に定めている。 授業履修時間も含めて、基準を遵守している。	卒業・進級判定会議を開催し学校長の承認を得ている。		
	3-9-4 授業評価を実施しているか					
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	入学者の全員が100%歯科衛生士国家試験の合格ができるように、対策を立てて取り組んでいる。また、仮に不合格となってしまう場合には、卒業後も合格まで無償支援する体制をとっている。	今年度の国家試験全国平均合格率が93.0%。 157名が受験し153名合格、4名不合格(合格率97.5%)であった。		
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	2	学科の育成目標を達成するために、講師がその分野のスペシャリストであること、また、同時に講師要件を満たしていることを講師採用において重点を置いている。 採用決定の講師は、講師会議を通して、授業運営に対する情報の共有化、成功事例の共有、また、学園の理念、希望する方向性、養成したい学生像を共有し、問題・情報の共有、解決につなげている。	同窓会ネットワークをいかし、交流を図っている。また、その情報から卒業生講師や外部講師を採用している。			
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか						
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	キャリアセンターの目標は、「入学した全学生を第一専門職の職種で就職させること」である。入学の目的を達成するための支援が必要であり、そのためには数字を元に現状を把握、問題を分析し、対策立案、実行のサイクルをまわすことが重要。そのため取り組みを徹底している。	キャリアセンターは、入学前の学生に対し歯科業界の状況や心構えを伝え入学できるように指導している。また在校生へは、履歴書指導から求人票の見方、面接練習や、筆記試験対策の実施、学内企業説明会を通して、就職に対する意識を高めている			
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか				3.0	国家試験対策も最終的には個別対策が必要となり、それは生活改善と関係し、学習支援は生活指導と直結する。学習習慣を身につけることが必要と考えている。WEB上で勉強可能なシステムが構築されている。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか						SNSを活用し、同窓会集客や卒業生の把握をしている。
4 教育成果	4-13 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3				適切に行われている。 キャリアセンターの、入学した全学生を第一専門職の職種で就職させること。 この目標は全国総での専門学校で考えていることですが、実態は専門学校で学んだ専門知識とは全く違う業界に就職する実態の報告が高校にも届けられますが、新東京歯科技工・衛生士はその不安や安易な就職斡旋ではなく、あくまでも専門知識を活かせる就職活動、そして実績は高く評価できます。
	4-14 資格取得率の向上が図られているか	3	100%国家試験合格に向けて、全ての取り組み、教育活動は行われている。			
	4-15 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	同窓会組織を中心に卒業生の動向を把握している。同窓会に参加する卒業生を増やし、卒業生の最新の実態を把握する工夫や活動が必要といえる。			

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2023年5月25日 委員会実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
5 学生支援	5-16 就職に関する体制は整備されているか	3	年の求人状況や採用活動のスケジュールと、学生のモチベーション等を鑑み年間計画を立てている。 さらに2週間に1度の頻度で担任とキャリアセンターで学生の状況を共有し、就職活動状況の把握をしている。	キャリアセンターの情報更新、学生を支援する際に過去のデータを使用して相談、希望地域にふさわしい就職先の提示など、教員の業界知識の向上をはかっている。	3.0	適切に行われている。 カウンセリングの充実が良いと思います。 再就職支援体制は大切だと思います 大学進学を目指しながら不本意に入学した学生も、どの専門学校に数多く存在しているのが実態です。さらに夢と希望を持って入学してきている学生も多いのですが、理想と現実の違い、高校時代と専門知識を学ぶ環境の違いもあり退学者の増加にもなっています。 滋慶学園では全教職員がカウンセリングマインドを持ち、さらに週2回の専門カウンセラーを配置しての相談できる環境整備は高く評価できます。 また医療環境、通学できない学生のための学生寮の整備も充実していますから、送り出す側としては安心できる学校です。
	5-17 退学率の低減が図られているか	3	中途退学者防止のための目標数字を掲げ、学科長を中心に学生支援に取り組んでいる。要支援学生の分類や、モチベーションアップのための支援策や、システム整備のほかにも、担任の支援・育成のための研修プログラムも実施している。	年々、学力差、志望動機、留學生等、入学者が多様化している。常に、現状分析をしながら改善策を考え実行している。		
	5-18-1 学生相談に関する体制は整備されているか	3	専任カウンセラーを置き、いつでも相談できる環境を作っている。 学校の全職員がカウンセリングの基本を学ぶ研修を受講しており、一定の対応はできるようにしている。教職員とカウンセラーの連携のスピードが健と健なる。	教職員全員が、カウンセリングマインドを持ち学生支援を行えるよう研修会&カウンセリング資格制度を実施。特に、カウンセリング研修では学園内組織(滋慶教育科学研究所)が主催する「JIESCカウンセラー資格」を全員に受講させ試験を実施することでカウンセリング技術の均一化を図る。 心理学/カウンセリング基礎知識習得を行うことで、学生相談室との連携が非常にスムーズに行っている。		
	5-18-2 留學生に対する相談体制を整備しているか					
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	経済支援に関しては、各種制度を利用しひとりひとりにあったプランを紹介している。 学費専任スタッフを置き、いつでも相談できる環境をつくっている。 健康面に関しても、学校医と連携をとり健康診断全員受診を維持している。 その他生活面に関しても相談できる環境としている。	インフルエンザ予防接種のサポートや、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する情報発信をしている。		
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制は整備されているか					
	5-20 保護者との連携体制を構築しているか	3	学生の問題解決のためには、保護者との連携は欠かせない。 成績不良、出席率の低下などが見られた場合には、すぐに保護者への連絡や単位取得状況の手紙を郵送し、情報を共有している。	保護者会を開催し、保護者との連携が必要であることや、学校と保護者の両面から学生一人ひとりを支援していく事を伝えている。		
	5-21-1 卒業生への支援体制はあるか	3	一度業界を離れた場合でも再就職できる体制をとっている。 再就職相談、定期的に講演を行い、卒業生の支援も行っている。 卒業生の活動のために施設設備の使用を優先的に許可している。	キャリアセンター、教務で就職先訪問を行い、定期的に卒業生の状況を把握している。		
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	6-22 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	ルーベ、ホワイトニング機器等を導入し、教育環境を整えている。	審美・美容ゼミ、歯科訪問診療ゼミ、最新歯科医療・矯正ゼミを行っている。 新型コロナウイルス感染症対策機器等を設置した。	2.8	適切に行われている。 これからはデジタル診療が拡大するため、口腔内スキャナー等の実習の充実を求めます。 今年度の海外研修などの活動がまだ検討とのことでしたので、学生たち及び教職員の安全をお願いしたいと思います。 専修学校設置基準に適合した施設設備が十分に整備されています。授業ではCAD/OAMシステムや3Dプリンターさらにスポーツマウスガード制作用機器の導入。授業では総合歯科技工ゼミ・デジタル技工ゼミ・スポーツ技工ゼミの3コースを特別授業で開設するなど教育体制を整えています。 防災関係もマニュアルを作成し、さらに非常用キットを全学生分の備えもしてあり防災に対する組織体制も整っています。
	6-23 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	学外実習・インターンシップ・海外研修を行うことで、学園の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の全てと関わることになり、その教育効果は大きいものと考えている。	7つの現場実習による実学教育を行っている。 ①歯科医院 ②大学病院 ③高齢者施設 ④障がい者施設 ⑤保健所・保健センター⑥小学校 ⑦総合病院 2022年度海外研修は中止のため、オンライン海外研修を実施した。		
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	実際の災害で対応できるように、マニュアルを整備している。災害時の対応を映像にまとめ、新任講師にも必ず研修を行っている。 昼間部と夜間部それぞれの時間帯を想定して訓練を実施、また職員には訓練開始まで役割を知らずに行うなど、常に実際の災害を想定した訓練を行っている。	「非常用キット」を全学生数分+α備えており、万が一の場合の3日間分の食料、水、防寒への対策を立てている。		
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2023年5月25日 委員会実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	3	広報活動は入学前教育という位置づけにしており、受験生の①職業適性の発見・開発②目的意識の開発の支援をしていく重要なプログラムであるという考えである。入学事務局、教務部、キャリアセンター、学生サービスセンターが一体になり広報活動にあたっている。 滋慶学園広報倫理規定グループの理念に基づいた募集開始時期、募集内容(推薦入試による受け入れ人数等)を遵守している。	コロナ禍のため、継続して社会情勢に合わせて柔軟にオープンキャンパスを開催している。 また、入学希望者向け入学案内とは別に高校教員・保護者向けの学校案内を作成し、教育理念やサポート体制についての説明を行っている。 そして、早期出願者に対し、出願時のモチベーションを入学時まで維持できるよう「プレレラッジ(入学前教育)」を実施している	3.0	適切に行われている。 大変良好です。 コロナ感染の影響でオープンキャンパスなどの募集活動も制限があるなかでも《目的意識と適正》を選考のポイントとして説明会が実施されています。志願者や入学者の数値をみても何の問題もなく入学活動がされています。 さらに加えるなら、高い基礎学力を備えた学生をいかに集めるか・いかに関心を向けもらうか質の転換もどこかで必要な時代です。質を維持しながら全体の入学者の数も維持する相反する選択ですが、生き残るためには必要な事だと思います。
	7-25-2 学生募集活動は、適正に行われているか					
	7-26-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3	「目的意識と適性」という選考ポイントのもと、説明会参加時の様子や面談でも受験生を把握している。その上で、面接・適性試験・書類選考で総合的に判定を行っており、適正かつ公平に行われている。	滋慶学園広報倫理規定に基づき運営している。目指す仕事に対する「目的意識」と「適性」「欠格事由」についても確認している。)を基準としている。入学者の事前データを基にクラス編成の参考にし、学生指導に活用している。		
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	学納金は学科の教育目標達成(卒業時の到達目標)を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費(講師・教職員)、実習費、施設管理・運営費等に当てられている。諸経費に関しては、毎年教材及び講師の見直しを行っており、無駄な支出をチェックしている。その上で金額の見直しを実施するようにしている。	募集要項上において、必要額を総額で明示しているため、年間支出計画を立てやすいよう示している。 また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたつてのアドバイスを実施している。		
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか						
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3	5年を見越した中長期的事業計画を毎年立てる中で収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするためにより現実に即した予算編成になっているものと考ええる。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	以下のチェック機能がある。 事業計画(財務計画・収支予算書) 1 学園本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 2 四半期ごとの学園本部によるチェック 3 修正予算の作成・学園本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 4 計算書類の作成と学園本部によるチェック 5 監事および公認会計士による監査 6 決算書類、事業報告書の理事会・評議員会による承認 内部監査を設置し、第三者視点で厳しくみている。	3.0	適切に行われている。 滋慶学園全体として、法人が中期計画長期計画をたて、さらに5年毎に計画の見直し改善を図っている組織ですから、財務体制は盤石です。全国約80校そして約38000人の学生数を基盤としている財務体制は、他校から見れば羨ましい限りだと思います。その分の人件費や学校校舎・設備関係の維持管理では厳しさも予想されますが盤石です。 学園全体の志願者や入学者総数、さらには中途退学者の減少対策、学校運営の重点目標もしっかりとっていますから、必要な資金の運用も確に効率よくされていることはコロナ感染拡大の中・さらに18歳人口の減少傾向が続く中において高い評価が出来ます。
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	収支計画は各学科の入学者数目標と予測、在籍者目標と予測から綿密な計画を立てている。学校、学科を取り巻く環境を常に考慮し、単年度ごとには見直し、健全な学校運営・学科運営が出来るよう努力している。収支計画(予算)は5年間作成され、そのうち次期1年間の予算については具体的に作成する。	当初予算→四半期予算実績対比→修正予算→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。		
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	8-30 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。	現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考ええる。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。		
8-31 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	学校内部としては「財務情報公開規程」を作成し、財務情報の公開にあたって必要最低限の項目を定め、具体的な事項については「情報公開マニュアル」を作成して、対応にあたっている。	「財務情報公開規程」では、目的、管理、公開対象書類、閲覧場所・時間、閲覧申請等を規定している。すなわち、情報公開に必要な最低限の事項を定めている			

学校法人東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価表

【2023年5月25日 委員会実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
9 法令等の遵守	9-32 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3		法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りができています。 また教職員への啓発として、法令や設置基準の遵守に対する教育または研修を実施している。	(1)組織体制 ①財務情報公開組織体制(あり) ②個人情報管理組織体制(あり) ③地球温暖化防止委員会 ④進路変更委員会 (2)システム ①個人情報管理システム ②建物安全管理システム ③物品購入棚卸システム ④コンピューター管理システム	3.0	適切に行われている。 私立学校法や寄付行為に基づき、法令や設置基準を厳守した学校運営がなされています。 教育課程委員会・学校評価委員会の設置及び意見の集約も整備され、自己評価の実施体制も完備されています。 また実施した評価についてはHPなどで公表もして改善の努力もしていることは評価できます。 *提案です ①学校関係者評価委員会の開催時に、委員会の前に学校授業の見学会を企画してください。 ②評価委員会の会場で説明するモニターの資料を、プリントして委員に配布して頂けるとさらに内容が理解できると思います。
	9-33 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか		3	全ての役員・教職員・講師が個人情報に関する法規を遵守し、個人情報保護に関する基本理念を実践するために「個人情報保護基本規程」を構築し、社会的要請の変化にも着目し、個人情報保護管理体制の継続的改善にも取り組んでいる。 学校という業務上、日々、大量の個人情報を扱っている。その管理においては外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、毎年個人情報保護管理状況についての検定を受け、ライセンスを更新しホームページ上に明記している。また、教職員研修、学生の教育を徹底し、情報漏えいのないよう努めている。	主な事項は以下の通り。 ・適切な個人情報の収集、保管、使用、開示及び提供に関する事項。 ・保管している個人情報の保護・修正・変更に関する事項。 ・対外的な当校の個人情報取扱についての周知、問合せ・苦情受付に関する事項。 ・教職員への教育・研修、周知徹底に関する事項。 個人情報を取り扱う業務の外部委託先については、「選定チェック表」により審査をし、業務委託時には「業務委託契約書」に保護を明記させ「個人情報保護誓約書」を提示させている。 個人情報保護最高責任者資格(認定CPO資格)を取得した職員を配置している。		
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか		3	私立専門学校等評価研究機構の基準に準じて自己点検・自己評価を実施しており、結果をホームページ上で公表している。	毎年5月に定められた委員会により、学校全体で取り組んでいる。		
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか						
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか						
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか						
9-35 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	私立専門学校等評価研究機構の基準に準じて自己点検・自己評価を実施しており、あわせて職業実践専門課程の基準に準じて教育内容についてもホームページ上で公表している。	情報公開ページ https://www.dt.ntdent.ac.jp/information/				
10 社会貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	業界・卒業生に施設設備の貸出を優先的に行っている。 また、業界・行政からの要請があった場合いつでも協力する準備はある。	大田区と災害時協定を締結している。 臨床実習先として訪問歯科診療を行っている実習先を開拓する。	2.6	適切に行われている。 歯科衛生士の法律改正の動きも活発になっていきますから、歯科衛生士を目標にしている学生及び教職員は「歯磨き」等の出前授業を幼稚園・保育園・小学校ばかりか、中学校や高校に出向いて「歯科衛生」の話をするだけでも、興味関心が高まると思います。大いに期待が出来る分野だと思います。 教育資源の活用が技工士・衛生士の分野では限られますが、保育園や幼稚園さらに小学校に学生が出向いての「歯磨き」の出前授業を展開してみたらと感じます。 歯科の重要性は、癌や糖尿病・高血圧にも関係するようですから、募集には直結しませんが、老人介護施設や病院に隣接するケアセンターを訪問しての、衛生指導は良い反応があると思われます。内科医・理髪店の方が出向いて活動している報告も耳にします。学生や講師の方の積極的な活動に期待します。	
	10-37 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか		2	歯科衛生士会等が主催するボランティア活動へ学生が参加できるように、歯科衛生士会との連携を強化する。AEDを設置しており、緊急の際には地域の方にも使ってもらえる用意がある。			2022年度は、新型コロナウイルスの影響により活動中止。
国際交流	11-38 国際交流に取り組んでいるか	2	新型コロナウイルスの影響で海外研修は中止となったが、スウェーデンとオンライン海外研修を実施し、海外の歯科業界事情について学び、現地の歯科衛生士と交流することができた。 また、留学生の受け入れを実施している。	2022年度海外研修は、新型コロナウイルスの影響により中止。	2.6	コロナ下にあっても工夫を凝らしてこのような企画を実施されたことに対し敬服いたします。 世界的な技術大会への出場や留学生の受け入れも評価できますが、この専門性はなかなか国際貢献が難しいところだと思います。 入学している留学のネットワークで、歯に悩みのある他校の学生及び在留者に呼びかけて「歯の健康」から留学生の安心感を滋養で作れると思います。学生の募集にも繋がる可能性もあります。	